

1. 前提条件・注意事項

ユーザ外字フォントをパソコン間でコピーするには下記の条件が必要です。

- ユーザ外字フォントを受け取るパソコンに既にユーザ外字フォントが定義されていないこと。既にユーザ外字フォントが定義されている場合は、その定義済みのユーザ外字フォントは削除される。
- コピーの元となるパソコンのユーザ外字フォントが全てのフォントに関係付けられていること(特定のフォントに関係付けられていないこと)。全てのフォントに関係付けられているユーザ外字フォントと特定のフォントに関係付けられているユーザ外字フォントが同時に存在する場合は、すべてのフォントに関係付けられているユーザ外字フォントのみコピーされる。

2. コピー操作手順

コピー操作は下記の3ステップで行う。

- 1) Administrators グループのアカウントでログインする。コピーの元となるパソコンの%SystemRoot%\Fonts フォルダ内の EUDC.EUF と EUDC.TTE の二つのファイルをユーザ外字フォントを受け取るパソコンの%SystemRoot%\Fonts フォルダにコピーする。

- %SystemRoot%\Fonts の内%SystemRoot%はコマンドプロンプト(cmd コマンド)の Set コマンドで確認できる。Windows 2000 と Windows XP を新たに標準でインストールしたパソコンの場合、%SystemRoot%\Fonts は以下ようになる。

Windows XP (Professional/Home)の場合:	c:\Windows\Fonts
Windows 2000 の場合:	c:\WinNT\Fonts

- %SystemRoot%\Fonts を Explorer で表示するとファイル名が表示されるのではなくフォントファイルに含まれているフォント名が表示される。このため Explorer でファイルのコピーをすることは難しい。コマンドプロンプトの copy コマンドを用いるとファイル名でコピーすることが出来る。あるいは UNC が利用できるならば、Explorer のアドレスに\\コンピュータ名\c\$\Windows\Fonts (Windows XP) あるいは\\コンピュータ名\c\$\WinNT\Fonts (Windows 2000)と指定するとフォント名ではなくファイル名で表示される。

- 2) ユーザ外字フォントを受け取ったパソコンで Administrators グループのアカウントでログインし、外字エディターを起動する。そしてそのまま保存する。これでシステム全体の登録されるべきユーザ外字フォント情報が登録される。
- 3) ユーザ外字フォントを利用するユーザ毎にログインし、外字エディターを起動する。そしてそのまま保存する。これにより各ユーザ毎にユーザ外字フォント情報がセットされる。